

広がる医師の世界

— 在宅医療、産業医療、起業 —

●講演：神田橋 宏治 (内科医・産業医・合同会社 DB-SeeD 代表)

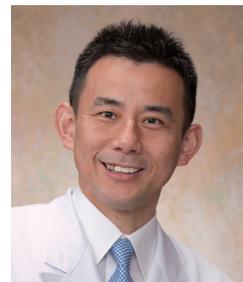
ここ10年あまりで医学部を卒業した後の医師の進路の幅が広がっている。従来は医局に属して、命令で各地の病院を回り、やがては独立開業するか、大病院の部長等になるか、大学での研究者になるかがメインルートであった。現在の若い医師はもっと様々なルートを模索している。

医療が病院・クリニックという枠だけでなくもっと広い社会に出てきているという事でもある。

私は内科医として働いたのち産業医の世界に身を転じた。

現在、特に長時間労働やそれに伴うメンタル不全が社会的にもクローズアップされてきており、その予防や対策に関しても優秀な産業医が広く求められている。この講演では産業医の面白さと現在の課題について述べたいと思う。

時間があれば起業(私も会社を設立している)等、他のルートについても述べたい。



かんだばし こうじ
神田橋 宏治

東大理学部数学科卒、医学部医学科卒。同大学病院の血液・腫瘍内科などで白血病治療、癌の抗がん剤治療に約10年従事する。その後、地域の病院で在宅診療部を立ち上げる。2014年産業医となり、2015年合同会社DB-SeeD設立。現在週に2～3日産業医として働くほか、2日程度一般診療や在宅診療、1～2日病院当直を行っている。趣味は山歩きと温泉で、先日、日本登山医学会認定山岳医を取得、来年の4月には日本温泉気候物理学会認定温泉療法医取得予定。



★ 医師をめざす皆さんへ ★

皆さんは医学部へ入ったら卒業し、医師免許を取ります。でもその後の進路まで現時点で具体的にイメージできている方は少数でしょう。アンケートを取ると、人類に貢献する研究をしたい、多くの苦しんでいる患者を救いたい、親の後を継がなければならない、あたりが動機の上位を占めます。

実は医師免許を持っていないとできない仕事、持っているとは非常に歓迎

迎えられる仕事は沢山あります。医師のフィールドはこれからますます広がっていきます。

その中の一つとして産業医療も位置付けられます。皆さんも今のうちにそういった非伝統的キャリアについても少し目を向けておくことが望ましいと思います。

10月18日(水) 18:30～20:00

翹町校 8階デルファイホール



入場無料
申込不要

〒102-0085 千代田区六番町1-3 ☎0120-192-599
●JR 総武線・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅下車 3番出口徒歩3分
●JR 中央線・総武線 四ツ谷駅下車 翹町口徒歩5分
●東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅下車 1番出口徒歩6分
●東京メトロ有楽町線 翹町駅下車 6番出口徒歩2分

